

2020年度 第1回 理事会報告

開催日時:2020年5月30日(土) 18:00 ~ 19:15

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局 (ZoomによるWEB開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、金子光一会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて金子会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2020年度第1回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として金子会長、大島監事、木原副会長を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当坏理事より資料に基づき説明があった。審議の結果、51名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2020年度予算案の変更について

財務担当和気理事より、2019年度第5回理事会にて承認された2020年度予算案の変更について、配布資料に基づき説明があった。審議の結果、2020年度予算変更案が満場一致で承認された。

なお、現時点では今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況が見通せないことから、必要に応じて次期理事会で協議しながら補正予算を組む等をして、臨機応変に学会運営を行っていくよう次期体制に申し送り、5月30日開催の2020年度定時社員総会で説明することを確認した。

第3号議案 2019年度事業報告、決算報告および監査報告(理事会ML審議済)

総務担当坏理事より2019年度の各事業が滞りなく遂行された旨の報告があり、財務担当和気理事より法人全体および各事業における2019年度決算について詳細な報告があった。大島監事より4月27日に実施された監査について報告があり、審議の結果、2019年度事業報告、決算報告および監査報告を5月31日開催の2020年度定時社員総会上に上程することが満場一致で承認された。

第4号議案 一般社団法人日本社会福祉学会委員会規程の変更について

総務担当坏理事より、2019年度第5回理事会にて「若手・女性研究者に対する支援検討委員会」から「研究支援委員会」と名称を変更することが承認されたため、あわせて「一般社団法人日本社

会福祉学会委員会規程」第1条(9)の委員会名を変更するとの説明があった。審議の結果、満場一致で承認された。

第5号議案 第68回秋季大会オンライン開催の概要について

審議事項から取下げ、報告事項5「全国大会運営委員会からの報告」に含めて報告があった。

第6号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2019年度会員動向および退会報告

総務担当坏理事より、2019年度年会費の納入結果について配布資料に基づき報告があった。また、2019年度に退会した会員の名簿および2015年度以降の会員数の推移を確認した。

2. 2020年度定時社員総会準備状況および当日の進行について

総務担当坏理事より、総会当日の進行について配布資料に基づき説明があった。

3. 第7期委員会構成について(第7期理事会議題の確認)

総務担当坏理事より、第7期委員会の委員構成予定について配布資料に基づき説明があった。

4. 理事会への不服申し立てへの回答について

総務担当坏理事より、論文投稿者からの不服申し立てへの対応について報告があった。

5. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当山縣理事より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による春季大会の開催中止、秋季大会の現地校での開催延期およびオンライン開催の実施について説明があった。

6. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当柴田理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配布資料に基づき報告があった。また、英文誌 "Japanese Journal of Social Welfare" vol.60-5が5月25日に学会ホームページ上で公開されたとの報告があった。

7. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の木原副会長より配布資料に基づき報告があった。

第68回秋季大会のオンライン開催にあわせて、留学生と国際比較研究のためのワークショップをオンライン開催するか否かについて検討し、開催する方向で調整しているとの報告があった。

日中韓三か国学術交流覚書の更新にあたり、三か国間でメールやWEB会議により覚書の更新の

ための協議をするか、非常事態であるため次年度に持ち越すか等、次期体制での検討を要する案件について確認をした。

8. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当岡部理事が欠席のため、金子会長より、第1次審査の結果、書籍8点、論文6本が選定されたとの報告があった。第2次審査を経て、7月上旬開催予定の第3回学会賞審査委員会で授賞候補作を選出し、次回理事会で承認を得る予定である。

9. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

10. 広報委員会からの報告

広報委員会担当山野理事より、6月末発行予定の学会ニュース84号の企画案、および5月27日にメール配信をした広報委員会だより通算49号について、配布資料に基づき報告があった。また、学会ホームページのリニューアル作業が無事終了し、3月末に新しいホームページを公開したとの報告があった。

11. アーカイブ化推進委員会からの報告

報告事項は特になし。

12. 若手・女性研究者に対する支援検討委員会からの報告

若手・女性研究者に対する支援検討委員会担当の久保理事より、オンライン開催となった第68回秋季大会にて、名称を「スタートアップ・ワークショップ」から「スタートアップ・シンポジウム」と変更し、当初の企画を引き継いでオンライン開催する準備を進めているとの報告があった。

13. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：感染症の影響により総会の開催が延期となっているが、6月に役員を交代するため、何らかの方法で開催する予定である。現在、機関誌41号の編集集中である。
- ・東北地域ブロック：感染症の影響により青森での2020年度研究大会の開催は1年延期とし、2021年度に開催予定となった。設立60周年記念論文集等の企画を検討中であり、完成時にイベントを開催することを予定している。
- ・関東地域ブロック：2020年3月に研究大会の開催を予定していたが、感染症の影響により中止とした。現在、オンラインでの研究大会の企画を検討中である。
- ・中部地域ブロック：2020年4月18日に2020年度春の研究例会・総会・シンポジウム等を開催予定だったが、感染症の影響により中止とした。総会のメール審議を行っている。機関誌『中部社会福祉学研究』第11号を発行し、学会ホームページに掲載している。

- ・関西地域ブロック：感染症の影響により、対面での会議の開催を取りやめ、WEB会議を行う。2020年度はフォーラム開催担当ブロックであるため、開催可否も含めてフォーラム担当理事と連携しながら協議を進めていく。
- ・中国・四国地域ブロック：2020年7月4日（土）に開催予定であった第52回岡山大会は、同内容にて2021年度に開催予定である。
- ・九州地域ブロック：2020年6月に開催予定であった研究大会を感染症の影響により中止とした。総会を書面表決で実施している。

14. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援依頼について

総務担当理事より、過年度の実績があることから、3件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

和気理事より、2020年度総会は書面表決での開催予定であるとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

久保理事より、3月13日の全体会議にて2020年度事業方針及び予算案が提示され、2019年度の事業を継続して実施していくことが承認されたとの報告があった。

3) 社会政策関連学会協議会

金子会長より、6月27日に社会政策関連学会協議会主催「若手研究者研究方法フォーラム（仮）」を同志社大学にて開催予定であったが、中止となったとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

報告事項は特になし。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会：GEAHSS（ギース）

久保理事より、幹事学会持ち回り制の2020年10月導入を目指して、規約改正案および組織図の改案が提示されたとの報告があった。7月末までに本学会の意見を提出するため、次期体制で協議するよう申し送りをした。

議長は、議事終了を告げ、19時15分に理事会を解散した。

以上